

49<sup>th</sup>

令和4年度10月号 [10月13日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



# 岸川中だより

川口市立岸川中学校  
川口市安行領根岸374番地の1  
TEL268-4506 FAX268-4761  
特別支援学級 TEL268-7110  
さわやか相談室TEL268-4510  
<https://kishikawa.official.jp>

体育祭がくれたもの・・・コミュ<sup>りょく</sup>力から明日を考える のこころ

校長 松田 隆幸

3年生にとっては、全校生徒そろっての最初で最後の中学校の体育祭。コロナと天候に悩まされながらも、完全形とまでいかなかったものの、やりきることができました。開会式を縮小しながらも、ご来賓の人数を減らしながらも、保護者の参観人数を減らして、マスクをしながらなんとか、形を整えたところです。生徒代表の話など登壇する際の所作も縮小型とはいえ、しっかりと担当教師が指導し、生徒も立派に応えてくれました。全体で実施した成果は、1、2年生に向けて「3年生の姿を見せる」という普段の教師の指導とは違う学びの一面が現れたと思います。

行事の大切なところは、生徒が主体となって、想像力を活かして、仲間と共に、喧<sup>けん</sup>々<sup>けん</sup>譁<sup>がく</sup>々<sup>がく</sup>しながらも、一応のまとまりを作り出す作業をすることにあります。そのためコミュニケーションスキルが向上し、トータルに全方位を見渡し、運営するための企画力が身につくとされています。コミュ<sup>りょく</sup>力・想像力・企画力これからの不透明な社会を生き抜くうえで大切な力です。

そこで、体育祭を終えて、体育祭がくれたものを考えてみました。前述したとおり、行事はコミュニケーション<sup>りょく</sup>力(コミュ<sup>りょく</sup>力)をつけるにはもってこいなのですが、中でも体育・スポーツはその最たるものではないかと思えます。体育祭を終えて、自信をつけて一回り大きくなったリーダー。集団の、クラスの結束がより強固となったこと等々は体育祭からのプレゼントだと思えます。生徒達も無意識のうちにコミュ<sup>りょく</sup>力を身につけることとなった体育祭であったと確信しています。

コミュ<sup>りょく</sup>力の重要性は、今後ますます増していくものと考えられています。2通りのコミュ<sup>りょく</sup>力。一つは現実社会で、対面してのコミュ<sup>りょく</sup>力。相手の表情を読み取りながらの会話ができる能力はそれ自体が社会を生き抜くうえで大きく評価されることとなるでしょう。もう一つは、Web上のコミュ<sup>りょく</sup>力。Webの中だから、言いやすい・聴きやすい。この・・・しやすいが危険なピンチの出発点。言いづらいことでも、現実社会では言わなければならない。しっかりと主張すべきことは主張する。何でも言いやすい環境でも、相手を想像して、相手を思いやったコミュニケーションをとることができる。そんなコミュ<sup>りょく</sup>力が「仕事」につながりそうな時代が始まっている予感がしてなりません。

コミュ<sup>りょく</sup>力を育てるにはどうしたらよいのか？過保護・過干渉や家庭での会話量などがWebで調べると出てきました。そもそも、「入社」すれば、まったく分かり合っていない、初めて顔を合わせる人たちと仕事(稼ぐ作業)を共にこなすわけです。中学を卒業して数年でその現実を訪れるということです。

今回のこころは、家では言いたいことを一言も言えない私が、自分なりに調べてみました。

令和5年岸川中学校は創立50周年  
2023 Kishikawa.J.H.S 50<sup>th</sup> ANNIVERSARY